

リニア中央新幹線事業に係る JR 東海と関係市町村長との意見交換会の概要

1 日 時 平成 29 年 4 月 19 日（木） 15:15～17:15

2 場 所 県飯田合同庁舎 講堂

3 会議内容（発言要旨）

① JR東海の現地体制の強化・充実について

【市町村意見】

- 様々な課題に迅速かつ的確に対応していくための現地体制の強化が必要。
- 丁寧な対応ということについては、さらなる強化が必要。
- 丁寧な説明になってきている。引き続き、続けていくことが信頼関係の構築につながっていく。
- 回数を運び、住民の皆さんとコミュニケーションや対話をより一層図ってほしい。
- 丁寧な説明をしてほしい住民ともいい感じになっているので、これでもかというくらい話をしてほしい、さらなる強化をしてほしい。
- 阿智や南木曽方面にも分室を設置してほしい。
- 村に専任の職員をつけてほしい、円滑な事業推進を図ってほしい。
- 地元企業を活用した方が工事が円滑に進むのではないか。地域振興にもなる。
- 県内のみならず県外含め、隣接する工区の情報を提供してほしい。

【JR東海回答】

- ・ 現在できる限りのマンパワーを投入して、事業の推進にあたっており、最近の整備新幹線における建設時の体制と遜色がない要員数と考えている。
- ・ いくつかの市町村からは、対応の仕方が前年に比べて大分よくなったというお話をいただいた。
- ・ 地元の皆さんとコミュニケーションをとることには心がけているが、まだ足りないというお話をいただいた。内容の充実に向けて更なるコミュニケーションを図っていきたい。

② 建設発生土の処理に関する生活環境等への影響の低減

【市町村意見】

- 運搬計画案を提示し、地元の要望を踏まえた計画と責任ある対応を行ってほしい。
- 安全安心であることをどう住民に知らせていくか全精力を注いでほしい。
- 建設発生土の運搬路についても住民のニーズに応える形で計画をしてほしい
- 本山の発生土置場をJRが長期管理することも念頭に置いて調整するとの方針について感謝する。
- 発生土置き場の構造について、専門家等の話では、非常に安全に配慮している、と聞いて

いる。住民でも分かるように科学的な安全性について強く発信してもらいたい。

- 図面、工法の提示が最初の話より遅くなるのであれば、提示時期の目途を連絡してもらいたい。

【JR東海回答】

- ・豊丘村の本山について、発生土置場を長期的に管理していくことを示した。個別の場所でそれぞれの条件があるので、個別に進めていきたい。
- ・発生土の管理について、科学的な根拠を示すように県から助言をいただいた。まずはよくお聞きしたいと思っている。住民の方にどう安心していただくかが大切と考えている。
- ・社内の知恵を合わせて、一般の方にもっとわかりやすく説明していきたい。

③ 関係市町村との協定等の締結

【市町村意見】

○残土・水環境の補償の問題があるので協定締結をお願いしたい。

○大鹿村で工事を進めていくにあたり覚書を締結したように、様々な課題を解決していく上で、他の市町村でも協定等の締結について考えてほしい

【JR東海回答】

- ・環境保全に関する事柄で一般的な協定を結びたいとの話に対しては、環境影響評価の手続きの中でまとめており、それと同じことを個別に文書化することは考えていない。
- ・大鹿村とは、工事における安全確保に関して文書を取り交わした。
- ・個別の工事を進めるにあたり、工事の安全を確認するという意味での個別の話について、文書で確認するなどして進めていきたい。

④ 観光はじめ地域振興策への支援・協力

【市町村意見】

○ 飯田線の利便性の向上を図ってもらいたい。

○ リニア乗換新駅の設置について配慮いただきたい。

【JR東海回答】

- ・1月の知事との懇談の中でも、社長から、観光振興については全社を挙げて取り組んでいくとお話しさせていただいた。
- ・飯田線80周年イベント、信州DCについては、機会を改めてお話しさせていただきたい。
- ・当社は鉄道会社であるので、観光の分野が振興されることは望むところであるので、しっかりやっていきたい。